

ゆるちき通信

238号

3月20日現在
 子ども会員：124人
 正会員：37人
 賛助会員：244人
 31団体



しりたがり.....02
 おとな塾.....03
 特集～祝!卒業～.....04～05
 ティーンズ+.....06
 おめでとう 20周年.....07
 和菓子にチャレンジ!!.....08

ゆまもと かずこの 知りたがりやトーク

さくらの季節到来！コロナ規制も無くなったし、みなさんお外で遊びましょ！ってことで、春です。みなさんいかがお過ごしですか？YYY では 5 月総会に向けて、急ピッチで来年度の計画素案を立てているところです。どんな企画が進められているか、もうちょっとだけナイショです。楽しみに待っててくださいね。

そんな中、TV はずーっと野球中継だらけ。高校野球に WBC、オープン戦も始まりました。きっと今年の中 1 には、野球部が一番人気だろうな、と予測しながら TV 観戦しています。と言うのも、幼少期に「サインは V」、「アタック No1」を見て育った私が中 1 の時は、女子バレー部が超人気で、たしか 40 人くらいの入部希望者がいたように思います。ちなみにその年に流行ったのは「エースをねらえ」。もちろん、翌年はテニス部女子が一番人気でした。いつの時代もメディアの力は大きいようです(笑)。

その部活で、今問題なのが顧問の先生の半数くらいはやめたいという現実。昨年末には朝日新聞でも特集が組まれ、次のような記事が掲載されていました。

「西日本の公立中学校の 20 代男性教諭は、ソフトテニス部の顧問として、少し前までこんな生活を続けてきた。平日は朝練のため午前 7 時半には校庭へ。終わればすぐに職員朝礼、ホームルーム、授業と続く。授業がない時間は提出物や宿題をチェック。昼休みも委員会活動などで座る時間すらない。放課後になると、すぐに着替えて部活動へ。午後 6 時に生徒が帰ると、職員室での事務作業が待っている。行事の準備や部活の大会出場申請、生徒指導の



書類作成……。朝から動き回って疲れ果て、授業準備に手が回らないまま、午後 9 時ごろまで働いて学校を後にする。土日でも試合や練習でつぶれた。数カ月に 1 回、休みがとれればいい方だった。食事を作る時間も気力もなく、コンビニで弁当を買って帰る日々。風呂で眠り込んでしまうこともしばしばだった。アパートの部屋にどんどんゴミがたまっていった。限界だった。…後略」

やったことのない運動部の顧問に抜擢されるのは、たいてい 20 代の若い職員。当てがわれた種目のルールについて学習したり、週末の練習試合を調整したり、信頼関係を構築すべく生徒間のトラブルの相談にのったり…。とにかく運動部及び運動部のような吹奏楽部の顧問は忙しい。デートどころの話じゃなさそう。かつては試合と言えば公式な大会がほとんどだったように思いますが、子どもの数が減り、部活内で試合形式の練習ができない昨今、他校との練習試合の数が大幅に増えているようです。送迎に駆り出される保護者の方も、それぞれ事情が違って大変だと思います。

そこで、呉市では 2023 年度から一部の部活において、専門性や資質を有する指導者を休日に派遣して合同部活動に取り組んでいくようです。まずは、ハンドボール部からなのだから、上手くいくことを願いつつ、ことの成り行きを見守っていきたいと思います。

Next おとな塾

x Harbor Salon

選挙

について学ぼう！



【日時】4月5日(水)19:30~
【場所】YYY 事務所
【参加費】500 円
※事前にお申込みください。

季節の変わり目 体調に気をつけよう! ～自分でできるセルフケア～

桜の開花宣言もあって春が訪れつつあるこの頃ですが、気温は不安定な上に大量の花粉。皆さんは振り回されていませんか？両方に見事に翻弄された私は大風邪を引きました……。

今回教えて頂いたのはそんな恐ろしい季節に自分の力で対抗する技術、東洋医学です。遣唐使の時代・中国から伝わる歴史ある学問で、西洋医学のように病気を治す意識ではなく悪くなる前に回復させるという意識があるそう。精神と身体が互いに影響し合うという心身一如の考え方で、心と身体の調和が取れている健康状態を目指すということでした。よく聞くツボ押しや灸、はり治療はこの考え方



講師 久保田 悠さん
(悠心堂院長・鍼灸師)

がもとで、身体に刺激を与えることによって精神に良い影響を与えようと考えられたもの。そしてそのツボは全身に張り巡らされていて、数えきれないほどあるそう！診察の仕方も独特で、舌や顔色、お腹の状態を見たり触れたりして患者の状態を把握します。見方を勉強すれば自分でも身体の異常を発見することならできそうだと思います。

そして講座はツボ押し体験へ。久保田先生に位置を解説して頂きながら自分で、ペアでツボを押し合いました。悲鳴が上がることもしばしばでしたが、会場は大盛り上がり。セルフでも効果はてきめんで、鼻が通るようになったり首周りの関節がスムーズになったりしました。自分で治せると思うとさらに気分が上がります。帰ったら家族にも学びの成果を披露するとともに、他の悩みを解決するツボも調べてみようと思いました！
(芥川愛花里)



番外編講座

酔いが人間に与える影響

飲酒運転防止インストラクターの資格取得を目指す黒木さんからお話を聞いた。

まずは、酔いの正体を知るためのDVDを鑑賞。酔った状態とはどういうことか、から始まり、運転中の身体への影響、よくある事故例などが紹介された。反応が遅れたり、理性や自制心の低下により、追突やスピード違反などが引き起こされることは、皆さんもきっとご存じのはず。

映像で見る事によって、分かりやすく頭に入ってきた。しかし、へえそうなんだ！と思えることもあった。ノンアルコールなら大丈夫だと思ってたりしたけれど中にはダメな物が！ドリンク剤だって気を抜いては行けない！車の運転は控えてくださいと注意事項に書かれてあるものも。また、飲酒した後、コーヒーを飲むとカフェインでシャキッとするけど、決して酔いが覚めたわけではないこと。お酒



をたくさん飲むと男性ホルモンが減少することや、女性の方がアルコール依存症になりやすいことなど、初めて知ったこともあった。

改めて、ちょっとくらいなら大丈夫、自分は大丈夫、と思うことの愚かさを認識できた。酔いとは、脳が麻痺した状態だということを周りの人にも知らせたい。また、日頃から安全運転を心掛けなくては…と思える講習会だった。
(しるこ)

卒業おめでとう。



2020年、春休み前に突如発表されたあの一斉休校から、はや3年。行事が中止になったり、マスク着用が広がったり、感染症対策の名のもとに、子どもたちを取り巻く環境は大きく変わりました。そんな中にあっても、友だちや先生と楽しく過ごした思い出ができていたらいいなと祈るばかりです。

そんな卒業生の皆さんに、「新たに挑戦したいこと」を教えてくださいました。コロナによる活動制限がほぼなくなると期待される新生活。皆さんの行く末が明るいものでありますように。

卒業おめでとうございます！

(YYY 一同)

私が中学校で頑張りたいことは自分の好きな絵を描くことです。将来の夢はイラストレーターになることです。なので、小学校の時にやっていた絵を描く練習を中学校に入っても続けたいと思っています。ほかにも、友だちのことを考えたり誰かのことを思った行動をとれるようにしたいです。人と話すことが苦手なので、仲がいいとか関係なく誰とでも仲良くできて優しくできるようになりたいです。そして、いつでも人のことを思った行動をとれるように頑張りたいと思います。勉強や部活以外のことも一生懸命頑張れるようにしたいです。(伊藤歩生)

僕は今まで通った小学校の友達と別れて違う中学校に行きます。さみしいけど、中学校への進学は楽しみです。

新たにチャレンジしたい事は『部活』です。中学校ではどんな部活があるかを色々調べて、決めた部活で友達と頑張っていきたいです。

勉強では英語のテストも始まるので、単語を覚えたり、発音も上手になりたいです。(S)



『俺らがコロナ世代！！』

僕らの高校生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、入学式のあとすぐ、緊急事態宣言による休校から始まりました。全ての行事が中止や縮小となり、思い描いていた高校生活とはかけ離れたものでした。でも、部活動の仲間や友達などと過ごした3年間はとっても密でした！他の世代では味わえない高校生活を送れたことを僕は誇りに思います！みんなありがとう！

(阿竹康)



今、自動車学校に通って
ます。予約が夜しか取れな
くて大変だけど、念願の免
許を手に入れるまで、ガン
バります。

4月からは社会人！仕
事はもちろん、時間をやり
くりして、今はまってるキャ
ラの衣装作りも攻めてい
きます(笑) (黒野来奈)



僕がこれから頑張りたいことは、まず車の免許を
取ることです。2月から免許を取り始めて、今は一段
階の所にいます。職場は東広島にあるので、まずは
免許を取得することを努力します。(竹内陽向)

私は、昔習い事でソフトバレーをしていたから、バレー部
に入りたい。でも、ボールが固いから、手にあざができて
いいな。習い事でやっているダンスの発表会以外で、大
会に出たことがないので、大会が楽しみ、大会では仲間と
ともに試合に勝ちたい！そのために練習をがんばる！

(尾末ふうか)



いつかショートアニメを自分で作りた
い！旅行もして、東京はハリポタとディズ
ニー、愛知はジブリパーク、修学旅行で
USJに行くのも楽しみです。(川本麻朝)



この3年間、新型コロナの流行もあって行
事の中止や規模縮小を余儀なくされてき
ました。けどその分、開催される行事に
は全力で取り組み、また思い切り楽しむ
3年間になったし、勉強に集中した3年間
でもありました。一番濃い時間を過ごした
仲間と別れるのは悲しいけれど、また数年
後、会って話したいな〜って思ってます！
今まで育ててくれた両親、見守ってくれた
学校の先生や YYY のみなさん、ありがとう
ございました！これからもよろしくお願
いします！

(中島洋輝)



これからはたくさん旅に行きたい！日本
なら北海道、海外はニュージーランド！学
校は高専なので色々資格もとりたいで
す。中学まで9年間で仲間がたくさん出
たから、新しいクラスでも仲間作りを大切
にしたいです。

(川本蒼一郎)



ティーンズ**plus**

行動あるのみ!

世界をまたにかけ

推しを追っかける!

3年前からの長いコロナ禍で多くの事を自粛し諦めなければならない世の中でしたが、今年に入りやっと規制も大きく緩和され自由な日常を取り戻しつつあります。

コンサートや海外旅行が趣味の私にとってコロナ禍前の旅行は2020年2月のカナダ、コンサートは同じく2月の東京が最後でした。

あれから2年2ヶ月後の昨年5月、待ちに待ったK-POPグループNCT 127のコンサートに再び行くことができました。

いつまで続くのだろうと思っていた暗いトンネルからやっと抜け出たような開放感があり、これまでにコンサートで知り合った友達ともコンサート



会場で再会し、月日の流れやコロナ禍での生活をお互いに労い、ドキドキワクワクする気持ちも再び蘇ってきました。

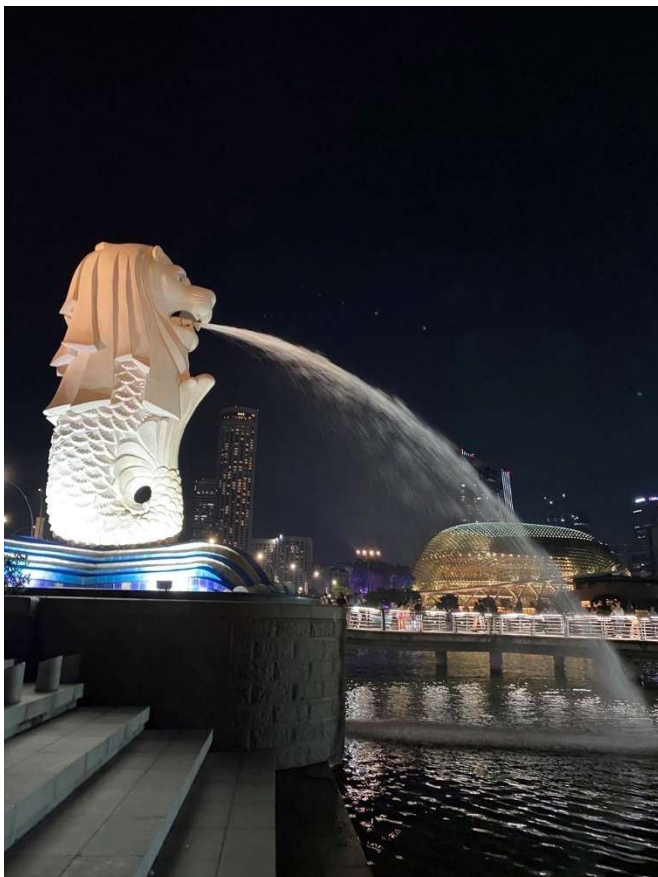
以降はNCT 127の単独コンサート以外にファンミーティングにも参加し、韓国大手事務所SMエンターテインメントに所属するアーティスト達が一堂に会する“SMTOWN2022LIVE”や、他グループですが現在日本のメディアに頻繁に出演している人気絶頂のStray Kidsのコンサートにも数回行き、NCT DREAMというNCT 127の弟分的存在のグループのコンサートにも行きました。

7月には2年半ぶりの海外旅行でNCT 127のコンサートが行われるシンガポールsgへ飛び立ちました。少～しではありますが他国の文化に触れて帰国しました。

そして韓国でのコンサートや音楽番組観覧にも行動あるのみで行ってきましたKR

コロナ禍で2年3ヶ月程コンサートに行けないという考えもしなかった状況に陥った時は、本当に何を希望に生活していけば良いのだろうと途方に暮れましたが、そのおかげで韓国語教室に通う事になり講師の先生達から韓国語だけでなく多くの事を学んだように思います。

どんな状況でも人と関わる事で希望が見えてくるのだと感じたコロナ禍でした。(まめしば)



おめでとう!20周年!

わっこよりお祝いメッセージ

20周年おめでとうございます!!

YYYの前身である呉おやこ劇場は物心ついた時すでに生活の一部にありました。

NPO法人化された20年前、自分は9歳。

ですが、YYYという名前を決める時に、いくつもある候補名にチロルチョコ(確か?)を投票したこと。みなと祭りで、YYYTシャツを着て、SMAPの世界に一つだけの花を流しながら、レンガ通りを「こども・NPO・YYY!」と声を出しながら歩いたことを覚えています!

キャンプ、雪遊びは家族行事でしたが、いろいろな世代のひととのつながりの場となり、初対面の人とコミュニケーションをとるのを恐れなくなりました。

こどもを1人の人間という存在として認めてくれ、こども理事、劇や舞台の鑑賞やもぎりの運営など役割をもらい、企画運営側の達成感の味を覚えたのも、YYYのおかげです!

YYYは、いつも新しく自由な風が流れており、知らない世界をみせてくれました。



正直、選んだ助産師という仕事も、「あなたがうまれるまで」を観たあの日がなければ、今いる場所もちがったかもしれない。

こどもの時にYYYで出会った人、劇、景色、書ききれないほどの体験や発見がいまの私のカケラであることはまちがいないです!

わたしを支えてくれたYYYの大人の方々のような大人になれてないのがお恥ずかしいくらい、自由に生きていますが、もらったものを恩返ししつつ、次の世代にバトンパスできるようにパワーアップしてきます!YYYの皆さまこれからもよろしくお願いします!50年、100年先もYYYがありつづけますように!! (わっこ)

おめでとう!20周年!

生部さんよりお祝いメッセージ

YYY20周年、おめでとうございます!

私が呉にいたのは、15年以上前のこと!

今30歳前後の2人の子どもが、幼稚園から高1になるまでの子育て絶頂期を、たくさん楽しませてもらいました!

一番楽しかったのは、人形劇のサークル仲間と一緒に楽しい時間を過ごしたこと!

手作りの人形や、みんなのアイデアに、こんなことできるんだ!!と、まあ、びっくりしました。

転勤で引っ越してきて、さみしかった私の居場所が呉にできました。おかげで私の呉生活は3倍楽しくなりましたよ。

車に荷物をつめこんで、色んな所に行ったねー。私は、悪役系の役をいただき、自分の黒さを発揮できて、爽快でした。怖がらせたい。でも泣かさない

ぎりぎりの線をいくのが醍醐味でしたー。

冬には、雪遊びに親子で参加して初ゲレンデに感動した。ソリは最高だった。

夏の星空映画は、夜風に吹かれて最高に気持ちいい。夜遊び感も良い。良かった映画は、おっかけしました(笑)

秋の芋煮会もいいよね〜。秋のかわらで、焚き火や、みんなで過ごすなんともいい時間。



YYYでは、自分の家族だけではできない、でっかく遊ぶことを体験させてもらいました。

子どもよりも私のほうが楽しんだかも。

呉を離れてから、うらやましく残念なのは、忍者になって遊ぶアレ。私がいたときはなかった企画。参加したかった〜。

YYYのみなさん、呉の街を、これからもますます元気にしてくださいー! (生部京子)

和菓子にチャレンジ!



コロナが少し収まってきたので、自己紹介から始まった。それだけで、調理室の空気が柔らかく感じた。雪遊びから続いている参加者も多く、なんとなく見たことがあるという安心感もあったかもしれない。講師のキャラクターが、お茶目だったり、やさしくおっとりだったのも良かった。キャサリンと渡辺朋子さんの2人に誘われて、みんな、和気藹々と和菓子づくりにチャレンジ!(くぼ)

講師の渡辺さんの感想

前回に続き講師にチャレンジ!!させてもらい、皆さんと楽しいひとときをすごせました。

今回は準備から「練り切り」作りをお手伝い。こちらは去年より上手になったかも…と喜びつつ、頭の中はこれから始まる本番にドキドキ…。何とか説明を終え、参加者の作品を見て回ると力作揃い。私では考えつかない題材・色・形に「その発想凄い!!」と沢山驚かされました。中には「形をどうしようか悩んでいたら色を付け忘れた…」という方がいて、でも出来上がった作品はとても素敵な桜。真ん中に付けた赤色が白地に映えて素晴らしい!もちろん、色を付けるのも楽しいし用意されていたら使おう!となるけれど「なくてもいいんだ。」と、パッと視界が広がりました。

何に関しても「こうでないとダメだ。」と考えがちな普段の私ですが、YYYの活動では「楽しもう!その方がいい!」と思えてきます。

■発行日:2023年3月25日(毎月1回発行) ■発行責任者:米本美千恵

■発行元:特定非営利活動法人 呉子どもNPOセンターYYY 〒737-0051 呉市中央3丁目 11-12PANビル3F

■連絡:0823-24-5646 ■WEB:<http://kure-yyy.org>